業務及び財産の状況に関する説明書類

（第５期）　2022 年 7 月 1 日から 2023 年 6 月 30 日まで

2023 年 8 月 30 日作成（公衆縦覧の開始日）
監査法人名　　シンシア監査法人
所　在　地　　東京都千代田区神田駿河台
3-5-1　三五ビル 2 階
代表者　　統括代表社員　金野　栄太郎　印

一．業務の概況

１．監査法人の目的及び沿革

（１）目的

・財務書類の監査又は証明の業務

・財務書類の調製、財務に関する調査若しくは立案又は財務に関する相談の業務

（２）沿革

・2019 年 3 月 1 日　東京都千代田区神田駿河台 3-5-1 三五ビル 2 階にて設立

２．無限責任監査法人又は有限責任監査法人の別

無限責任監査法人

３．業務の内容

（１）業務概要

当会計年度は設立第 5 期であり、監査証明業務及び非監査証明業務を行っております。

・監査証明業務

当会計年度末現在の被監査会社等の数は、前会計年度に比して主に金商法・会社法監査で 2 社増加したことにより純増 2 社となりました。その結果、被監査会社等の数は 19 社となり、当業務に係る収入総額は 210,003 千円となりました。

・非監査証明業務

非監査証明業務については、前会計年度に比して 8 社減少し、その業務に係る収入は 32,519 千円となりました。

（２）新たに開始した業務その他の重要な事項

該当事項はございません。

（３）監査証明業務の状況

種別	被監査会社等数
①　金商法・会社法監査	5 社（5 社）
②　金商法監査	－社
③　会社法監査	－社
④　学校法人監査	1 社
⑤　労働組合監査	－社
⑥　その他の法定監査	2 社
⑦　その他の任意監査	11 社
合計	19 社

（注）（　）書きは、大会社等数で内数であります。

（４）非監査証明業務の状況

非監査証明業務を行った社数は 11 社であり、大会社等以外に対する業務であります。

４．業務管理体制の整備及び業務の運営の状況

（１）業務の執行の適正を確保するための措置

当監査法人は、監査業務に真摯に向き合い、社会から十分に信頼される健全な法人運営を行うことを使命としております。

社員は、監査業務の品質を重視する風土を醸成することに努め、社員を含む全ての構成員に対しては、職業倫理に関する規定を遵守し、監査業務の品質が全てに優先することを強く認識して監査業務に取り組むことを基本方針としております。

これを受けて、定例社員会において、法人運営に関する諸施策の決定や実施状況のモニタリングを行い、基本方針に従った法人運営が行われていることを適宜確認しております。

また、法令遵守の実効性を担保する措置として、ホームページを通じた通報制度を設けており、顧問弁護士又は当法人品質管理担当責任者に一次的に連絡がなされることとしております。

（２）業務の品質の管理の方針の策定及びその実施に関する措置

当法人及び個々の監査業務における品質を合理的に確保するため、「監査に関する品質管理基準」、「監査における不正リスク対応基準」、品質管理基準委員会報告書第１号「監査事務所における品質管理」及び監査基準委員会報告書 220「監査業務における品質管理」に準拠して、「監査の品質管理規程」を定めております。

■　品質管理に関する責任

品質管理に関する適切な方針及び手続を定め、品質管理担当責任者は品質管理のシステムの整備及び運用に関する責任を負い、統括代表社員が当法人の品質管理のシステムに関する最終的な責任を負うこととしております。

統括代表社員をはじめ全ての社員は、監査業務の品質が全てに優先することを強く認識しており、監査業務の質を重視する組織風土を醸成するために、会議体や研修会等で適宜専門職員にメッセージを発信しております。

■　職業倫理

日本公認会計士協会倫理規則に基づき、職業倫理の遵守に関する方針及び手続を定め、その遵守状況を入所時及び毎年一定の時期に確認しております。

■　独立性

独立性の規定を遵守することを合理的に確保するために、独立性の保持のための方針及び手続を定め、その遵守状況を入所時、新規契約時及び毎年一定の時期に確認しております。また、監査チームに編成されたメンバーは、監査業務の開始時点及び終了時点で、独立性の遵守状況を確認しております。

また、非監査証明業務を受嘱する場合、監査証明業務と同時に提供することを禁止された非監査証明業務又は自己レビュー等独立性に対する阻害要因が生じる業務に該当しないことを確認しております。

■　監査業務の長期間の関与

担当者の長期間の関与に関する方針及び手続を定め、監査業務の主要な担当社員等（業務執行責任者、審査担当者等）に対してローテーションを実施しております。大会社等の監査業務については、監査業務の主要な担当社員等は、累積して 7 会計期間を超えて関与できないものとし、その後、関与時の役割に応じた必要なインターバル期間を設けることとしております。また、主査の関与期間の上限は 10 会計期間、インターバルは 2 会計期間としております。

■　専門要員の採用、教育・訓練、評価及び選任

専門要員の採用、教育・訓練、評価及び選任に関する方針及び手続を定め、以下のように運用しております。

採用については、人事担当社員が採用予定者の能力及び適性を検討し、社員会に採用者の報告が行われております。

教育・訓練については、研修担当社員が年間計画を立案し、法人主催の研修会を開催するほか、特に重要と認める研修を法人必修研修に指定して受講を促すなど、専門要員の能力開発に一定の配慮をしております。また、日本公認会計士協会会則で定める必要な単位数、かつ各年度 40 単位以上の履修を義務付けており、履修状況については研修担当社員が継続的に管理しております。

評価については、会計・監査業務の専門知識のみならず、監査の品質管理への理

解度や品質管理の取組み、職業倫理の遵守などを総合的に考慮して実施しております。

監査責任者及び補助者の選任については、ローテーション及び業務の専門性、経験等を考慮して実施しております。

（３）公認会計士である社員以外のものが公認会計士である社員の監査証明業務の執行に不当な影響を及ぼすことを排除するための措置

当法人の社員は全て公認会計士であるため、措置は講じておりません。

（４）直近において公認会計士法第 46 条の 9 の 2 第 1 項の規定による協会の調査(品質管理レビュー)を受けた年月

通常レビュー　　2021 年 1 月

（５）業務の品質の管理の方針の策定及びその実施に関する措置が適正であることの確認

当法人の統括代表社員が、業務の品質の管理の方針の策定及びその実施に関する措置が適切であることを確認しております。

５．他の公認会計士（大会社の財務書類について監査証明業務を行ったものに限る。）又は監査法人との業務上の提携に関する事項

（１）提携を行う他の公認会計士の氏名又は監査法人の名称

該当事項はありません。

（２）提携を開始した年月

該当事項はありません。

（３）提携上の提携の内容

該当事項はありません。

６．外国監査事務所等（外国の法令に準拠し、外国において、他人の求めに応じ報酬を得て財務書類の監査または証明をすることを業とする者）との業務上の提携に関する事項

（１）提携を行う外国監査事務所等の商号又は名称

該当事項はありません。

（２）提携を開始した年月

該当事項はありません。

（３）業務上の提携の内容

該当事項はありません。

（４）ネットワークおよびその取り決めの概要

該当事項はありません。

二．社員の概況

１．社員の数

公認会計士	特定社員	合　計
９人	−人	９人

２．重要な事項に関する意思決定を行う合議体の構成

合議体の名称	合議体の目的	合議体の構成		
		公認会計士	特定社員	計
社員会	法人の重要な意思決定	９人	−人	９人

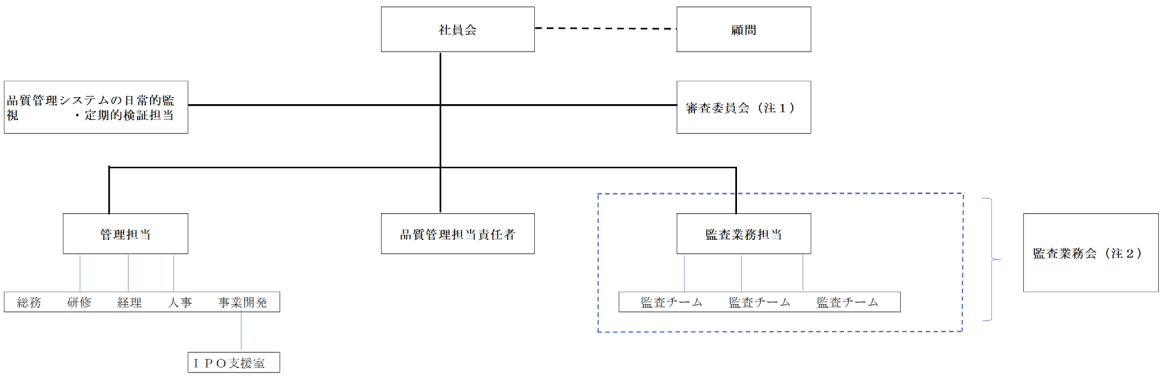
三．事業所の概況

名称	所在地	当該事務所に勤務する者の数			
		社員			公認会計士である使用人の数
		公認会計士	特定社員	計	
（主） 本部事務所	東京都千代田区神田駿河台三丁目5番1号三五ビル	人 9	人 −	人 9	人 21
（従） 該当なし					

四．監査法人の組織の概要

組織図、組織体制及び担当業務

（2023年6月30日現在）



（注 1）審査委員会は、審査関係書類の整備、審査委員及び審査担当者の適格性の評価等を行う。審査制度はコンカリング・レビュー・パートナー方式を採用している。

（注 2）監査業務会は監査チーム間の情報共有やアサインメントの調整などを行う。

五．財産の概況

１．売上高の総額

区分	第4期 自　2021年7月 1日 至　2022年6月30日	第5期（当期） 自　2022年7月 1日 至　2023年6月30日
売上高	千円	千円
監査証明業務	102,704	210,003
非監査証明業務	37,730	32,519
合　計	140,435	242,523

２．直近の二会計年度の計算書類

無限責任監査法人のため、添付しておりません。

３．２に掲げる計算書類にかかる監査報告書

無限責任監査法人のため、添付しておりません。

４．供託金の額

無限責任監査法人のため、記載しておりません。

５．供託金の全部または一部を代替している有限責任監査法人責任保険契約の内容

無限責任監査法人のため記載しておりません。

六．被監査会社等（大会社に限る）の名称

株式会社イード

株式会社マリオン

マークラインズ株式会社

ダイトウボウ株式会社

株式会社ウェッズ

以　上